

寄贈図書リスト

シリーズ現代の天文学第3巻 宇宙論II 宇宙の進化
[第2版], 二間瀬敏史 池内了 千葉柁司編,
A5判, 306ページ, 2,600円+税, 日本評論社

天体物理学, アーナブ・ライ・チョードゥリ著, 森正
樹訳, 菊判, 448ページ, 7,500円+税, 森北出版



月報だよりの原稿は毎月20日締切, 翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので, 締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで toukou@geppou.asj.or.jp 宛にお送りください。折り返し, 受領の連絡をいたします。

研究助成

公益財団法人宇宙科学振興会 2019年度助成事業 2件

公益財団法人宇宙科学振興会は宇宙科学分野における学術振興を目指し, 2019年度も引き続き下記の助成事業を行います。それぞれの応募要項の詳細は当財団のホームページ: <http://www.spss.or.jp> に掲載しています。それぞれの公募に対する応募申請に際してはホームページご参照の上, 申請書をダウンロード・作成いただき必要な書類を添付の上, 財団宛に電子メール (admin@spss.or.jp) で申請下さい。奮ってご応募いただくようご案内申し上げます。

(1) 国際学会出席旅費の支援

●支援対象

宇宙物理学(地上観測を除く)および宇宙工学(宇宙航空工学を含む)に関する独創的・先端的な研究活動を行っている若手研究者(当該年度4月2日で35歳以下), またはシニアの研究者(当該年度4月2日で63歳以上かつ定年退職した者)で, 国際研究集会で論文発表または主要な役割などが原則として確定している者。

●助成金額・件数: 一件あたり10~30万円程度, 年間8件程度

●申し込み受付時期

応募締切り2019年8月31日: 2019年10月1日~2020年3月31日の間に開催初日が予定される学会対象

応募締切り2020年2月29日: 2020年4月1日~2020年9月30日の間に開催初日が予定される学会対象

(2) 国際学会開催の支援

●支援対象

宇宙科学研究を推進している国内の学術団体(研究所, 大学等)で, 宇宙物理学(地上観測を除く)及び宇宙工学(宇宙航空工学を含む)に関する国際学会, 国際研究集会の国内開催を主催しようとする団体。

●助成金額・件数: 一件あたり30~50万円程度, 年間4件程度

●申し込み受付時期

応募締切り2019年8月31日: 2019年10月1日~2020年3月31日の間に開催初日が予定される学会対象

応募締切り2020年2月29日: 2020年4月1日~2020年9月30日の間に開催初日が予定される学会対象

●照会先

公益財団法人宇宙科学振興会事務局

<http://www.spss.or.jp>

〒252-5210 神奈川県相模原市中央区由野台3-1-1

E-mail: admin@spss.or.jp

Tel: 042-751-1126

研究会・集会案内

東京大学木曾観測所及び名古屋大学 宇宙地球環境研究所 特別公開のお知らせ

東京大学木曾観測所及び名古屋大学宇宙地球環境研究所を一般の皆様へ公開いたします。当日は, 普段近くで見ることのできない望遠鏡や観測装置を間近に見ることができる他, 講演会, 研究紹介なども行われます。

開催日時:

2019年8月3日(土)

*13時~18時: 望遠鏡デモンストレーション, 研究紹介など

*15時~16時: 講演会

*19時~21時: 天体観望会(雨天中止)

2019年8月4日(日)

*10時~16時: 望遠鏡デモンストレーション, 研究紹介など

*14時~15時: 講演会

開催場所: 長野県木曾郡木曾町三岳10762-30

交通: JR中央西線木曾福島駅または上松駅から車で約30分

問合せ先: 木曾観測所 TEL: 0264-52-3360

木曾観測所ホームページ:

<http://www.ioa.s.u-tokyo.ac.jp/kisohp/>

宇宙地球環境研究所ホームページ

<http://stswl.isee.nagoya-u.ac.jp/>

※事前申し込みは不要で, 入場無料です。

第28回 公開セミナー「天文学の最前線〜生命と宇宙環境〜」の参加者募集

名古屋大学理学研究科, 宇宙地球環境研究所と名古屋市科学館では毎年夏休みの時期に, 名古屋大学の研究者を中心とした第一線で活躍する天文学研究者を集め, 一般向けのわかりやすい講演会「天文学の最前線」を開催しております。28回目の今年のサブテーマは「生命と宇宙環境」です。ホットトピックである惑星形成に始まり, 我々が生きる地球周りの宇宙環境, さらに太陽系外の惑星環境に至るまで国際的に活躍する3名の天文学者の講演と世界最大のプラネタリウムをお楽しみ頂けます。詳しい情報は下記の通りです。皆様の参加をお待ちしております。

日時: 令和元年8月4日(日)

会場: 名古屋市科学館 サイエンスホール, プラネタリウムドーム (Brother Earth)

主催: 名古屋大学大学院理学研究科, 名古屋大学宇宙地球環境研究所, 名古屋市科学館

内容: 講演会, プラネタリウム特別番組上映

対象: 高校生以上

定員: 300名(応募多数の場合は学生・教員を優先に抽選)

参加には科学館の観覧料が必要です(高校生, 大学生(要学生証)200円, 大人400円)

申込方法:

下記のURLからインターネットでお申し込みください(団体申込みもできます)。

<http://www.astro-th.phys.nagoya-u.ac.jp/open28/>

締切: 令和元年7月5日(金)

問合せ先: 名古屋大学大学院理学研究科

SST研 今田晋亮

E-mail: nagoya.koukai.seminar@gmail.com

京都大学飛騨天文台特別公開のお知らせ

京都大学飛騨天文台では, 来たる8月10日(土)に特別公開を行います。施設の公開と天体観望会を行い, 京大・理・附属天文台で現在行われている最先端の天文学研究を, わかりやすく説明します。事前申込が必要です。定員100名(抽選)。

〈特別公開〉

日時: 2019年8月10日(土) 13:00~20:30

場所: 岐阜県高山市上宝町蔵柱

京都大学大学院理学研究科附属天文台

飛騨天文台

公開施設:

ドームレス太陽望遠鏡(DST), 太陽磁場活動望遠鏡(SMART)

65cm屈折望遠鏡, 60cm反射望遠鏡

内容:

DSTによる太陽像と分光スペクトル観望(昼), SMARTによる太陽像の観察(昼)と解説, 65cm屈折望遠鏡および小型望遠鏡による夜間天体観望(月, 木星, 土星など), 最先端の天文学研究解説(講演), 工作教室など体験型企画ほか

〈交通機関〉

公共交通機関がありませんので, JR高山駅または上宝支所(高山市上宝町本郷)までお越し下さい。JR高山駅と上宝支所からシャトルバス(有料)を運行します。詳細は附属天文台のホームページをご覧ください。

〈申込方法〉

ホームページからお申し込み下さい。

受付期間: 6月24日(月)から7月10日(水)

定員: 100名(申込多数の場合は抽選)

抽選結果は, 7月19日までにお知らせします。

〈問い合わせ先〉

〒506-1314 岐阜県高山市上宝町蔵柱

京都大学飛騨天文台

Tel: 0578-86-2311 Fax: 0578-86-2118

E-mail: hida2019@kwasan.kyoto-u.ac.jp

E-mailでのお問い合わせの場合は,

件名を「8/10飛騨特別公開」として下さい。
<附属天文台ホームページ>
<http://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/>
<主催>
京都大学大学院理学研究科附属天文台, NPO法人
花山星空ネットワーク
<後援>
岐阜県高山市
<協力>
高山観光バス

会務案内

2020年度内地留学奨学金の希望者の募集

内地留学奨学金は、日本国内の大学や天文台などの研究機関で研究者の指導を受けて研究活動を行う際の消耗品・旅費等の経費の支援をするものです。

日本天文学会員で学校の教員、科学館・プラネタリウム・公共天文台などの社会教育施設の職員、アマチュア天文研究者が主な対象ですが、学生の応募も可能です。過去の奨学金の対象となった研究テーマは、学会ホームページ (http://www.asj.or.jp/asj/naichi_app.html) に掲載されています。なお、研究内容にふさわしい機関や指導者がわからない場合は、早めに内地留学奨学金選考委員長にご相談ください。多くの方々の応募をお待ちしています。

募集要項

応募資格: 日本天文学会員

採択数: 若干名

留学期間: 2020年4月から2021年3月までの12カ月間のうち希望する期間。受入研究機関、指導教員(受入研究者)と相談して決定してください。研究終了後、2カ月以内に研究報告書の提出をお願いいたします。

支給額: 25万円以下。支給は2020年4月を予定。

申込み: 応募申請書に必要事項を記入し、指導教員の捺印とコメントを得たうえ、〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 日本天文学会事務長大てに郵送してください。

応募締切: 2019年8月31日(土)必着。

審査: 内地留学奨学金選考委員会(内規第5条)で審査のうえ、決定し、10月中旬に通知します。

応募用紙: 日本天文学会事務所にあります。申請書の書き方例もありますので、事務所にご請求ください。学会ホームページ(「各種手続・書式」の「内

地留学」の項、http://www.asj.or.jp/asj/naichi_app.html)からもダウンロードできます。なお、日本天文学会会員名簿の巻末に内地留学奨学金に関する内規があります。

ご相談・問合せ先: 内地留学奨学金選考委員長
戸田雅之
E-mail: metrotokyo_masa_toda@yahoo.co.jp

編集委員会より

ご挨拶

月報はちょっとひと息つきたい時に研究の最前線の話題などを気軽に楽しめるオアシスのような雑誌だと思っています。編集長として、この良い雰囲気は保ちつつ、編集委員、月報係、原稿を執筆して下さる方々、読者の方々と一緒にさらに楽しめる雑誌を作り上げていきたいと思っておりますので、これから2年間どうぞよろしく願います。

編集長 松田有一(国立天文台)

今期より編集委員を務めます市川です。任期付きの身分ということで実は一度お断りしたのですが、多波長観測の経験を買われて、編集委員を務めることになりました。編集委員を通して意外に謎に包まれている天文月報編集の現場を知ることができれば幸いです。

市川幸平(東北大学)

今期より編集委員を拝命いたしました。天文学や関連分野の最新情報が分かりやすく説明されている天文月報の記事は毎回とても勉強になっていました。多くの方に興味を持ってもらえるよう、少しでも貢献できればと存じます。よろしく願います。

岩井一正(名古屋大学)

昨年10月より編集委員を務めております。まだまだ慣れないこと・分からないこと・至らないことばかりですが、少しでもお役に立てるよう、頑張ります。

江草実(東京大学)

二期目に入りました。どんなことにも常にベストを尽くす心意気で残りの任期を全うしていきたいと思えます。

岡部信広(広島大学)

2015年度から4年間、編集委員を務めてきました。その間に特集を2件と追悼2件を担当、これでもう十分かと、この5月でお役御免となり無事退任？するはずだったのですが…。9月号、10月号掲載予定の特集を1件担当することになり、もうしばらく居残り編集委員を務める事になりました。あと数ヶ月の間、よろしく願いいたします。

奥村真一郎（日本スペースガード協会）

引き続き編集委員を努めさせていただきます。読者の皆様に最近の研究成果をお届けできるよう努めてまいります。どうぞよろしく願いいたします。

押野翔一（東京大学）

今期より編集委員を務めさせていただく小高です。専門分野はX線によるブラックホールや中性子星といった降着天体の観測と関連する装置開発です。理論と観測や、他の波長や手段を繋ぐ研究の手助けになるような記事のお手伝いができたらと考えております。よろしく願いいたします。

小高裕和（東京大学）

編集委員を務めて半年、まだ右往左往しています。校正作業等を通してみなさんの記事をじっくり読み、自らも勉強しています。引き続きお手伝いをさせていただきますので、よろしく願います。

嘉数次人（大阪市立科学館）

編集委員長を失脚し、これから2年間“上皇”編集委員を務めることとなりました。前任期中は、東に何かの集いあれば行ってネタをかき集め、西に記事の足りない月あれば特集企画で乗り越える、そんな日々でしたが、これからも雨にも負けず風にも負けず魅力的な天文月報を作り上げていきたいと思っています。

小宮山裕（国立天文台）

国立天文台の滝脇です。天文台内部の編集委員として主に校正に関わっていきます。天文月報は比較的最近の研究の進展をその分野外の人に届けるのに、大きな役割を果たしていると思います。今後も良い雑誌にできるよう、少しでもお手伝いできれば幸いです。

滝脇知也（国立天文台）

編集委員も2期目になりました。今期もよろしく願いいたします。引き続き天文学会の皆様、特に若手の方々の成果を広めるお手伝いができればと思っています。

富田賢吾（大阪大学）

今期も引き続き編集委員を務めさせていただくことになりました。あと2年間、天文月報をより良いものにしていけるよう微力ながら尽力いたしますのでよろしく願いいたします。読者の皆さまからの積極的な記事投稿をお待ちしております。

中村航（福岡大学）

昨秋から編集委員の西塚です。太陽分野の編集委員として、諸先輩方にご指導頂きながら楽しく編集活動に参加させて頂いています。最新の太陽研究の紹介や、太陽と他分野の交流の懸け橋となるような記事の掲載に貢献したいと思っています。記事投稿の話などございましたら、お気軽にお声掛けください。

西塚直人（情報通信研究機構）

今期より編集委員を務めることになりました。天文学の専門家、愛好家など幅広い方々に楽しんでいただけるような記事作りをできればと思います。よろしくおねがいします。

秦和弘（国立天文台）

編集委員になって半年が経ち、やっと委員の仕事にも慣れてきました。普段は読まない分野の記事を読む機会も多く、大変勉強させて頂いています。今期もよろしく願い致します。

福井暁彦（東京大学）

今期より編集委員を務めさせていただくことになりました国立天文台（岡山）の前原です。天文月報は、様々な分野の最新の研究成果だけでなく、その研究の歴史的な背景や研究に日夜奮闘する方々の様子に触れられ、毎号楽しみにしておりました。今後も魅力ある雑誌にできるよう、少しでもお手伝いできれば幸いです。

前原裕之（国立天文台）

ASTRO-H特集号とMAXIの10周年の特集号が終わるまで居座らせて頂くことになりました。

もう少しだけよろしくお願いします。月報を査読することで新しい発見が多かったです。ぜひご寄稿を。

山田真也（首都大学東京）

天文月報記事投稿用アップローダー

<http://www.asj.or.jp/geppou-office/toukou/index.php>

■ログイン法

login: geppou passwd: toukou

■アップロードの仕方

アップロード画面にいったまづ必要事項を埋めてください。

するとアップロードに進むことができます。ファイルが複数ある場合は「投稿フォームを増やす」ボタンを押してください。押すたびに欄が増えます。

1回あたり全部で最大50 Mbyteまで、個数は20個まで送信できます。(それ以上の巨大なファイルのアップロードは推奨されませんが、やむをえない場合は分割してお送りください)。

■注意

投稿者の個人の認証はcookieを利用しています。

したがってcookieを受け取らないブラウザでは使えません。

またフォームのチェックや可変個数のアップロードボックスはjavascriptを利用していますのでjavascriptが使えなければこのアップローダーは使えません。

その場合は従来どおり、toukou@geppou.asj.or.jpまでメールでご投稿ください。

■連絡先

アップローダーに関するご質問はtoukou@geppou.asj.or.jpまでお願いします。

(天文月報編集長)

天文月報記事ご執筆用テンプレート (SKYLIGHT, EUREKA, 天球儀)

ご執筆にあたりましては、日本天文学会HP内、「天文月報」のページにあります「投稿用Tex/MS Word テンプレート」をご活用ください。

<http://www.asj.or.jp/geppou/yoko/template.html>

texで執筆される方はtexテンプレートの中から文字コードに応じたものを、MSWordで執筆される方はword用のテンプレートをご利用下さい。詳しくは各readmeをお読み下さい。

※ BibTexに対応するテンプレートを作成しました。

Overleaf用でLinux/Macにダウンロードしても使用できます。ぜひご利用ください。

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード: 雑誌コード (5桁の数字と) **vol112** (6文字) の計11文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

松田有一 (委員長), 市川幸平, 岩井 一正, 江草英実, 岡部信広, 奥村真一郎, 押野翔一, 小高裕和, 嘉数次人, 小宮山裕, 滝脇知也, 富田賢吾, 中村航, 西塚直人, 秦和弘, 福井暁彦, 前原裕之, 山田真也
令和元年6月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会
印刷発行 印刷所 〒162-0801 新宿区山吹町332-6 株式会社 国際文献社
定価720円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会
Tel: 0422-31-1359 (事務所) / 0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座00160-1-13595
日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp
会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2019年 (本誌掲載記事は無断転載を禁じます)